

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	その他小売（営業担当）	販売量の動き	・閑散期である9月も販売量が全く減少しなかった。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・7月が底であって、自分が関与しているクレジットの組合も好調だし、駐車場システムも好調に稼働している。急に人の動きが出てきた。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価が以前より若干上昇しており、やや良くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今月は特にアイスクリーム・飲料が良く売れたが、アイスクリームでも通常の価格帯より少し単価の高い物や、コーヒーでもプレミアムタイプの物が良く売れた。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月も8月に引き続き気温も高めで、アイスクリーム・飲料・ビール等の動きが非常に良かった。それに伴い売上も回復傾向にはあるが、全般的には今一つ物足りないものがある。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・厳しい残暑の影響で、飲料中心に前年比で売上が増加している。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・今月前年比で良くないのは、前年同月が地上デジタル放送が始まってその効果でかなり売上が伸びたために過ぎない。当社他店では、AVコーナーの調子が良い。
		その他専門店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比90～97%と前月よりかなり上向いている。
	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・客の動向、単価・内容等が、全般的にやや良くなっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・政治不信や猛暑など、本来ならない要素が絡んで景気の動向がわかりにくい。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・残暑が続く、衣料品を中心に秋物の動きが悪く、売上は前年を下回った。それに伴い在庫調整が極めて難しく不安材料である。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・残暑が厳しいこともあり、身の回り品については依然として夏物の動きが好調に推移して、全体的に好調である。一方、秋物全盛のアパレル部門はカットソーなどの薄物は好調であるが、値の張るジャケット類の動きが悪く、苦戦を強いられている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・残暑が厳しく真夏日が続き、秋物の動きが悪かった。客自身もまだ秋冬物には目が向いていない。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料品や寝装品は天候に左右されがちなため、暑さが長引いた影響で秋物が動かずかなり苦戦している。反面、高級志向の客も多く、高級ブランド展及び物産展の高額食料品はかなり売上予想をオーバーした。礼服については、着物が売れず頭を悩ませている。婦人雑貨については、いまだにパラソルが動いている。
スーパー（店長）		お客様の様子	・大型のディスカウントストアの開店もあり、チラシでの価格訴求が各社強化され、客の買い回りが目立つ。	
スーパー（店長）		販売量の動き	・販売点数については、前年比102%である。来客数についても、前年比101～102%という数字がずっと続いている。この状態はこの数か月続いて変わらない。	
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・全体として横ばい状態が続いている。ただし、客は高級志向と値段重視の二極化が進んでいる。		
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・残暑が厳しかったので来客数が伸びなかった。特売等行事があれば、2～3日前から少し良くなるが、行事が終わればまた悪くなるという状況が続いている。		
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上等、9月前半は前年に比べてかなり良かったが、後半落ちてきた。トータルでは何とか前年比をクリアできる見込みである。季節商材が伸びず、定番も弱くなっており、内容は厳しい。		
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前に比べると多少良くなっている。来客数は前年比105%で推移している。		

コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は3か月前に比べると持ち直しており、今月は前年比で5.0%の増となっている。一方、客単価に関しては、若干ながらダウンしているが、許容範囲内であり、全体の売上は増加してきている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・残暑により、来客数が少なく冬物も動いていない。
衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月は、売上・来客数共に昨年より若干落ちている。残暑が残っているため、特に来店客はかなり落ち込んでいる。アイテムでいうと、単価の高いボトムが何とか健闘しているが、秋物のトップスが苦戦している。
家電量販店（店長）	競争相手の様子	・競合店の売上は前年を下回っているが、当社の売上は前年をクリアしており、市場としては大きく動いていない。
家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・今年は土日祝日の数が昨年より2日も多く、曜日配列では昨年より有利であるが、全体的にほぼ昨年並みで推移している。原因としては気温が高い水準で推移している事などが考えられる。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格が若干値下がりしているものの、まだ小型自動車や軽自動車志向が顕著であり、中型・大型車を扱っている店が非常に苦戦を強いられている。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・ガソリン代に始まり、物価が上がるのが買い控え感へつながっている。特に決算期を終えて、購買意欲が冷えてきた感じがする。
乗用車販売店（サービス担当）	来客数の動き	・新車購入のための来客数が前年比で50～60%と非常に少なくなっている。したがって新車の販売台数も前年の70%程度である。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・拡販時期と言われている月なので、通常月よりも、若干新規の来客数は増加している。しかしながら「やや良くなる」と言うほどではない。
自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・前月は客数の回復傾向も見えたが、決算セール動きは良くなく、来客数も前期を下回っている。
住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・相変わらず予算を持っている客とそうでない客の差が激しく、数的には後者の方が多いので売上全体で見れば減少している。
その他専門店【時計】（経営者）	販売量の動き	・郊外に食品スーパーが増えて、商店街の来客数が更に減少した。
その他専門店【スポーツ】（経営企画）	販売量の動き	・総販売量は増えているが、増えているのは気温が高めに推移したために飲料が増えているのであり、その他の商品には変動はない。
一般レストラン（店長）	販売量の動き	・高額商品の販売が思わしくない。また、それに伴い客単価も減少してきている。
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・夏休みが終わって旅行者が一段落しており、動きが悪い。
観光型ホテル（経理総務担当）	販売量の動き	・9月は前半から中盤までは好調に推移していたが、最終的には前年並みとなった。宿泊部門、婚礼部門が好調だが、地元客が主体の一般宴会が苦戦している。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価が非常に低下しており、売上は横ばいである。
都市型ホテル（総務担当）	お客様の様子	・今年の夏は異常に暑かったせいか、客の動きが悪く、一般宴会及び婚礼の受注が無い、又は案件そのものがない。季節的要因もあるものの、景気はどちらかと言えば変わらないか下向き傾向にある。
タクシー運転手	お客様の様子	・客の話で一番多いのは、年金に対する不安で、それに伴い、無駄遣いをしないということである。それを証明するかのように、タクシーの売上は過去3年間横ばいである。
タクシー運転手	お客様の様子	・景気が上向きになっているように言われているが、客の話や夜の飲食街をみると、悪い時とあまり変わっていない。
タクシー運転手	販売量の動き	・今月はイベントにかかわる売上があり、前年比でプラスになっている。ただし、イベントの特需を除けば、やはり苦戦しているというのが実態である。
通信会社（総務担当）	お客様の様子	・地上デジタル放送の開始から1年になるが、デジタル特需は一時的なものに終わり、新規契約の獲得は、厳しい状況が続いている。

	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・ガソリンやその他の商品の価格上昇により心理的に消費に抑制が掛かっていて、景気の改善には至っていないと思われる。
	テーマパーク（財務担当）	来客数の動き	・夏休み後の今は閑散期であり、これに暑さが続いたことも影響し、来客数は伸び悩んでいる。
	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・先月は猛暑その他の要因で来客数は伸びなかったが、今月に入ってからは再び前年比では上昇傾向にある。
	ゴルフ場（営業担当）	競争相手の様子	・利用料金の値引き合戦で安くしたゴルフ場が増員となっている。景気は良くなっているように思うが、サービス業は、なかなか売上が安定せず、安い所に集中する傾向は変わらない。
	競艇場（職員）	来客数の動き	・来客数・発売金額共に横ばいである。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・9月は大学生がまだ夏休みの時期なので、例年だと来客数、売上共に良いのだが、今年は来客数が少しダウンしていて、それに伴い売上も減少している。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・提供するメニューの量の動きが悪くなっている。1人の客が2つ、3つとメニューをこなす、ダブルメニュー・トリプルメニューが少なくなっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街を通行する人の数が以前にも増して減少している。それに伴い売上も減少している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・当店は市内中心部に位置しているが、郊外型大型店に客を取られつつある。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・近隣の同じエリアに新しい商業施設がオープンしたことと、9月に入ってもずっと真夏日が連続していたことにより、来客数が非常に少ない月であった。
	一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・残暑で客の動向が大変不安定である。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・9月も猛暑が続き、皆、夏パテ気味で、食品関係、飲食店の動きも含めて悪い。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・例年にない厳しい残暑が9月末まであり、秋物が全然動かない。特に他ゾーンより早く動きがみられる高額品プレタゾーンにおいても、その季節の物を買うジャスト買い傾向が年々強くなっており、そのため全ゾーンが苦戦している。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・例年に比べ残暑が厳しく、秋物商材の稼動が遅れ9月中旬から売上前年比が下降傾向にある。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・9月の平均気温が7月を上回るなど夏日が継続しており、そのため基幹の婦人・紳士ファッションの秋物が大きく低迷している。特に分母の大きなミセスゾーンが厳しく、9月末になっても夏処分へのニーズがある状況である。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・8月にやや上向きの兆しがみえてきたと期待していたが、9月は全体でも前年同月を大きく下回り、約9割のテナントが売上を大幅に落としている。いつまでも暑い気候のせいも、近隣にショッピングモールがオープンしたせいも分からないが、異常な落ち込みである。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・まだ残暑が厳しく、秋物が売れないため、売上を確保するのが厳しい。
	スーパー（店長）	単価の動き	・少しグレードの高い商品の販売が不振である。客単価・一品単価の前年割れが続いている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・平均単価は前年比97.6%と、3か月前の前年比と比べて約2%低下している。特に高額商品の多い生鮮部門において98%前後で推移している。単価の動きが非常に悪い。
	スーパー（店長）	単価の動き	・残暑の影響からか、いまだに売れているのは夏物処分が中心である。本来この時期に売るべき秋物がほとんど動かないため客単価が上がってこず、その結果、売上・利益共に例年を割り込んでいる。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価・買上点数は昨年並ではあるが、来客数が昨年を下回っており、売上に大きく影響している。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数は前年並みに推移しているものの、客単価・数量とも前年比で2%程度落ちている。商品価格、原材料が値上がりしている中、販売価格に転嫁できないため収支も良くない。
スーパー（財務担当）	販売量の動き	・一品単価はほとんど変わっていないが、既存店での来客数および買上点数がやや下がっている。	

	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街でシャッターを下ろす店が増えた。郊外の大 型店の増床オープンもあり来客数が著しく減少した。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・昨年に比べ気温が高い日が続き、秋物商品が動いて いない。
	家電量販店（店長）	競争相手の様子	・新たな競合店の出店前に各社価格値下げ傾向にあ り、大型耐久消費商品の単価低下に拍車がかかっている。
	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・売上が4か月連続で前年割れとなっている。
	その他専門店〔布地〕（経営者）	来客数の動き	・今年は残暑が厳しく、秋物商材があまり動かなか った。
	一般レストラン（店長）	単価の動き	・夏場に比べて、客単価が若干（100～200円前後）低 下している。
	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	単価の動き	・来客数は順調に2けたの伸びを示しているが、客単 価が2～3%落ちて来ているため、売上の伸びが鈍化 した。
	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・地域的なものかもしれないが、コンベンション、企 業団体の宿泊が、5～9月にかけて激減した。個人予 約も、ビジネス関係が伸び悩んでいる。
	タクシー運転手	単価の動き	・8月後半から非常に動きが鈍くなっている。日中・ 夜・観光等すべての動きが鈍いまま9月に流れ込ん で、例年だと9月10日過ぎになると好転するのだが、 依然変わらず週末の夜の客も少ない。日中も病院通い の客を除いては全く動きがない。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・販売量・来客数共に3か月前と比べてやや悪くなっ ている。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・6月に行われた建築基準法の大改正を受けて、建築 確認申請が長引いたり、工事が中断したりして、当社 の業務が滞っている。同業他社も同様な状況にある。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・建築、設計など建設に関する新規発注予定が全く無 い。
	設計事務所（経営者）	単価の動き	・同業他社とも、全体的には受注単価の低下と販売量 の減少が顕著である。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場への来客数が、3か月前に比べ1割減となっ ており、毎月減少傾向が続いている。
悪く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・普通でも2月、8月は景気が悪いと言われるが、今 年はその8月より9月の方がもっと悪い。異常気象の せいかどうか分からないが、かつてないことである。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・盆明け後も暑さが続き、秋冬物の販売が流れに乗ら ない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・9月に入っても真夏日が続き、秋物の売上が悪く、 全体の売上も非常に落ち込んでいる。客は購買に対し て慎重な姿勢が続いている。こう暑いと、道行く子供 も皆半袖で、店内100%長袖商品の当店としては、非 常に苦戦している。
	百貨店（電算担当）	販売量の動き	・多額の経費を使って大きな催事を開催中であるが、 来客数は去年よりプラスだが、予想より大幅に下回っ ている。さらに食品、衣料品、雑貨などほとんどの商 品が、涼しくならない天気の影響で、前年比マイナス になっている。また消費者は、自分の生活保護の目的 のために生活防衛に走っている。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・9月の売上が8月の実績を割り込む状況である。残 暑が非常に厳しくブーツの売上が前年比58%と大きく マイナスとなっている。下旬になっても全く上向か ず、婦人靴全体でも前年比80%である。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・来客数は前年比で若干減少している程度であるが、 客はとにかく購入しない。特に秋物商品は全く動きが ない。
	家電量販店（店長）	お客様の様子	・来客数も少なく、あっても修理依頼で、商品はほと んど動かない状況である。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・映画館や劇場が他の場所に移転したり、スーパー マーケットが撤去したりと、周辺の変化で客足がすっ かり途絶えてしまった。また、今月のように2週続け て3連休があると一般客の足も止まり、大変暇であ った。

		設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・建築基準法改正により建築確認申請の手続が変わり、中規模以上の建築物の確認がおりない状況になっているため、困っている。
企業 動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・クライアントからの要望が多く、人材確保が難しい状況である。人材さえ確保できれば、売上も増加する。
	やや良く なっている	窯業・土石製品 製造業（総務経 理担当） 輸送用機械器具 製造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・各所からの注文生産が重なり、生産量は高水準を維持している。 ・新製品の受注増があり、生産能力を向上させ、何とか過負荷を回避した。またマイナーチェンジの製品の活況予測に引き続き、今期の目玉新製品群第2弾が順次立ち上がってきている。
変わらない		食料品製造業 （総務担当）	受注価格や販売 価格の動き	・価格の据置きを進めているが、石油等の燃料費が高くなっていて、利益面に影響が出てきている。
		化学工業（総務 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく安定しており、全般に高稼働率を維持している。物流費・原材料費高騰の影響を受けながらも好景気の影響で、利益が出ている。
		化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・販売量・価格共に、大きな動きなく推移している。
		鉄鋼業（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・受注量は堅調だが、原材料やエネルギー関連費用の高騰が続き、収益的には厳しい。
		金属製品製造業 （総務担当）	競争相手の様子	・当社はフル生産で操業している。ただし、競争相手は仕事量が減っているとの情報がある。製品によって仕事量に差が生じており、同じ業界でも「高水準の受注一辺倒」ではなくなった感がある。
		一般機械器具製 造業（経営企画 担当）	受注量や販売量 の動き	・海外向けの自社製品の売上について、回復の兆しが見えてきた。
		電気機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・自動車・鉄道関連は受注が安定的かつ高止まりに入っており、依然減速の気配は見られない。エアコン関連も残暑の影響で、例年裏期に入る時期であるが、受注はまだ好調に入っている。
		その他製造業 〔スポーツ用品〕 （総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注は変わらず来ているが、本社販売の方は相変わらず売れる商品とそうでない商品差が激しく、売れない商品の在庫の問題で困っている。在庫がたまると生産の方まで影響してくるため厳しい。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・下落の幅は小さくなったとはいえず、地価もまた下がり、建設業界は全く活気がない。悪いまま推移している。
		輸送業（統括）	取引先の様子	・今月は主要顧客の動きも鈍く、業務に変化がない月であった。
		通信業（営業企 画担当）	受注量や販売量 の動き	・法人向け通信サービスの新規受注に停滞感がある。また高価格商品から、安価な物への乗換えに伴う収益減をカバーすることが困難となる状況が懸念される。
		通信業（部門 長）	受注量や販売量 の動き	・主要商品の売上がここ2か月連続で目標を下回っている。取引先企業の売上も低迷しており、夏季という事を割り引いても景気回復とは言えない状況である。
		金融業（業界情 報担当）	取引先の様子	・主要取引先の新車の輸出好調を背景に、受注は高水準を維持し、増収・増益基調を継続している。
		金融業（営業担 当）	取引先の様子	・建設業・土木・室内装飾に至るまで、仕事がない状況が続いている。山口市のこの周辺では4月以降工事がほとんど出ていない。出たとしても、價格的に3割ダウンから始まるといった具合で、収益的には全く貢献していない状況が続いている。
やや悪く なっている	会計事務所（職 員）	取引先の様子	・業種を問わず、思いのほか売上が増えていない。特に、販売や建設といった業種は売上を落としている。また、製造業はおおむね売上を増やしているものの、原材料の値上げにより利益幅が圧迫されてきている。	
悪く なっている	農林水産業（従 業者）	それ以外	・今月と3か月前を比較すると、沖合底引網・大中型巻き網が減少したため、水揚げ数量で1062tの減少、水揚げ金額は3億4800万円の減少である。今月単月の前年比では大中型巻き網・中型巻き網船が減少したため、水揚げ数量で500tの減少、率で62.0%。水揚げ金額でも2億円の減少、率で65.0%である。	

		建設業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・談合問題を皮切りに公共工事の受注は激減し、その反動で民間工事の受注競争が激増している。そのために民間工事の受注も減少している。
雇用 関連	良くなっている	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・8月の新規及び月間有効求人人は、前月・前年同月比共に上昇している。このことから、事業所の募集活動は活発になっているものと判断される。また、求職者に関しては、前月・前年同月共に減少を示しており、求職者を取り巻く就業環境は更に改善されている。このため求人倍率は前月より0.04ポイント上昇し、1.69倍となった。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・新卒向けの採用イベントの参加企業数が伸びている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して、月間有効求人数が200人増加している。また月間有効求人倍率についても0.08%上回っていること等から、やや良くなっている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・企業の採用意欲は引き続き高く、特に金融機関や医療機関からの依頼は非常に多い。また中小企業でも採用の意欲は高くなってきており、直接雇用の依頼が増えてきている。
		人材派遣会社（担当者）	採用者数の動き	・採用者数の動きは積極的な面はあるものの、団塊世代退職の補充の前倒し的な考え方によるものであるため、全体的な景気上向きによるものと考えにくい。
		求人情報誌製作会社（支店長）	周辺企業の様子	・求人意欲は横ばいである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人状況は、飲食店・宿泊業でファミレスの新規オープンに伴う大量求人があったほかは、すべての業種で大きな変化はなく横ばいとなった。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新規高卒者の選考が開始され、大手化学製造メーカーを中心とした企業が順調に人員を確保しているが、中小企業においては、応募が全くないなど、必要とする人材の確保に苦慮している。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・正式に採用活動を開始する前段階で求人企業から相談があり、間もなく正式に求人依頼が入るといったパターンがあるが、以前に比べ「正式依頼」が入るまでに時間が掛かっている。採用方針の決定に、以前に比べ時間を要する傾向にあり、正社員採用するにあたり慎重になっているケースがかなり見られた。
やや悪くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は依然多く、活発な採用活動は続いている。しかし求人難による前年に引き続いての採用活動や、中途採用が得にくいため新卒採用等々、様々な要因での採用活動の拡大であり、直接景気が影響し、求人数が拡大しているとは思えない。	
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・スーパーを始め小売の売行きが良くない。企業にとっては広告費を始めとする3Kの節約への取組がますます増えており、特に求人広告の出稿の減少が景気の悪さを反映している。
		民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・コンピューター用ソフトの開発部門（技術職）でベトナムの人が働き出している。玉突き現象で少し能力が落ちる日本人はやや不安定な立場に立たされるケースも出ている。
悪くなっている	-	-	-	